

令和3年度 校長より ①

4月5日は、着任式と始業式が実施されました。新型コロナウイルスの感染防止のために、体育館での実施は取りやめ、放送室前から各教室への映像配信により生徒は式へ参加いたしました。

着任式では、冒頭に副校長から新たに着任した校長が紹介された後、校長から新着任した教職員を一人ひとり紹介させていただきました。今年度は、校長、事務職員、及び非常勤講師を含め、15名が着任しました。代表で、秦野曾屋高校から転任されてきた社会科の榊原秀允先生が、着任に当たっての教育実践への決意を述べました。

始業式では、校長から簡単な自己紹介の後に、本校のグランドデザインを踏まえた中での生徒に期待することとして、「高校時代には高校時代にしか学べないことがある。仲間と共に取り組んだ授業や部活動、学校行事を通して得た経験、そして感じた喜び、感動は二度と得ることができないものである。こうしたことが人格形成の基礎になる。授業や部活動、学校行事に真剣に取り組む、グランドデザインにあるような、『主体的に考え、行動力とコミュニケーション能力あふれる人間』になってほしい。」とのお話をさせていただきました。

4月6日は、入学式が実施されました。今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のために、保護者のご参加はご遠慮いただき、新入生と教職員、PTA会長のみにて実施しました。

真新しい制服を着た新入生一人ひとりの呼名の後に、校長として、397名の入学を許可いたしました。その後の校長の式辞として、新入生の皆さんに2つのことをお願いしました。一つは、「高校生としての自覚を持って入学し、日々の授業や部活動、学校行事に責任を持って取り組んでほしい。」ということ、もう一つは、「答えのない物事に対して、ひるむことなく積極的チャレンジし、苦難を乗り越え、最後まであきらめずに、探究し続ける精神を養ってほしい。」ということです。そして、式にご参加いただけなかった保護者の皆様には、「お子様の苦勞に心を痛めることがあっても、それを乗り越えていく姿を、しっかりと見守ってあげてください。」とのお願いをさせていただきました。

PTA会長の林夏子さんからは、新入生に向けて3年間の成長への期待が伝えられ、新入生代表の山口遥菜さんからは、3年間の学校生活への取組の決意が述べられました。

始業式と入学式によって、1200名程の全校生徒が令和3年度を無事にスタートいたしました。ここ大船高校での学校生活が、生徒一人ひとりにとって有意義なものとなるよう心から願うとともに、その実現に向けて校長としてしっかりと努めてまいりたいと思います。

令和3年4月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆